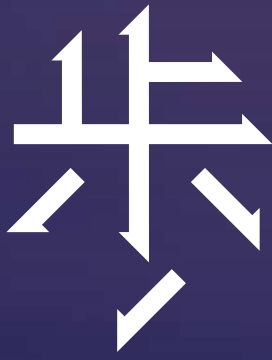


地域の
明日をよむ

Through FPG's Kyushu network,
we share insights and success
stories—brightly lighting the
“next step” for business leaders
and communities.



12

2025 Vol.177

株式会社 ミスターマックス・ホールディングス 代表取締役社長 平野 能章 氏

塩山食品 株式会社 代表取締役 塩山 治彦 氏

本多機工 株式会社 代表取締役社長 龍造寺 健介 氏

白木運送 有限会社 代表取締役社長 黒木 正史 氏



懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

やはり、 坊津は遠かった



▲眺望がすばらしい笠沙美術館



▲沖秋目島



▲輝津館から見た双剣石



▲歌川広重
『六十余州名所図会 薩摩 坊ノ浦双剣石』(※)



▲輝津館(坊津歴史資料センター)



▲「007は二度死ぬ」撮影記念碑
(坊津町秋目)

●坊津歴史資料センター
輝津館

住所：鹿児島県南さつま市
坊津町坊9424-1

●笠沙美術館

住所：鹿児島県南さつま市
笠沙町赤生木8666-1

薩摩半島の「坊津」から「笠沙」にかけては、貴重な文物が往来する大陸交易の玄関口であった。飛鳥時代、遣唐使船が東シナ海を横断する「南島路ルート」の寄港地として歴史に登場、鑑真和尚がこの地から上陸したことでも知られる。中世には明や琉球との交易地として栄え、江戸時代は薩摩藩の密貿易の拠点となり大いに賑わった。

往時の面影はなく、リアス式海岸特有の切り立った地形と紺碧の海が広がる風光明媚な海岸線だけが残る現在。海面に聳え立つ「双剣石」と呼ばれる二つの大岩は、歌川広重が国内名所を描いた浮世絵「六十余州名所図会」の最南の地で、当時も有名な観光地だったことがわかる。

鰐節で有名な枕崎に近いせいか、巨大な鰐節が海に刺さっているのかと空目する。

(文・阿井川 圭)

地域の
明日をよむ

Through FFG's Kyushu network,
we share insights and success
stories—brightly lighting the
"next step" for business leaders
and communities.



2025.12 VOL.177

Contents

懐かしい情景を探して
やはり、坊津は遠かった

Top Interview

- 2 株式会社 ミスターマックス・ホールディングス
代表取締役社長 平野 能章 氏
- 8 塩山食品 株式会社
代表取締役 塩山 治彦 氏
- 14 本多機工 株式会社
代表取締役社長 龍造寺 健介 氏
- 20 白木運送 有限会社
代表取締役社長 黒木 正史 氏
- 30 bank baton
自治体が海外でセミナー開催！
台湾企業へ直プロモーションを
成功させたストーリー。
- 32 海外駐在員事務所が伝えるグローバルの今
ニューヨーク
- 34 海外展示会セレクション
- 36 お城巡り
近畿編②
- 37 長崎だより
琴湖のほとりにて考える
コミュニティの持続性を担保するものとは



鍋冠山公園(長崎市)

Back Number

本誌のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループの
ホームページにてご覧いただけます。





 福岡銀行

暮らしの中の笑顔を通じ社会貢献
創業100周年に一層進化し
循環型社会の幸福をエン・パワーメント。
株式会社ミスターマックス・
ホールディングス
代表取締役社長
平野 能章 氏
ひらの よしあき

取引店／福岡銀行 本店営業部

■会社概要

創業:1925年／設立:1950年／所在地:福岡市東区／資本金:10,229百万円／従業員:2,367名(グループ全体、パート含む)／事業内容:総合ディスカウントストア運営事業・物流事業・ショッピングセンター開発事業・太陽光発電事業／グループ施設:株式会社ミスターマックス、株式会社ロジディア、上海最高先生商貿有限公司

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





本社前
(左から平野社長、五島頭取)

日本初の電波放送と同時に創業 ラジオパーツの小売から総合DSへ

創業者であり私の祖父である平野茂がラジオパーツの販売を手がけ、創業した1925年は、日本で初めてのラジオ電波発射（現…NHK）の年です。茂は田川市で農業を営む一家の次男でしたが、18歳を迎えたことを機に親から自立を促され、商店街の一角で商売を始めました。

折良く、NHK社員が普及活動に各地を回っていた頃で、ラジオに販路ありと見た茂が、パーツ販売やラジオ本体の組立などを始め、1927年にはHIRANORADIOと称した店舗を構えました。炭都として賑わった筑豊地域と共に店も成長し、1950年に設立。1969年に、新産業都市計画に湧く大分県大分市に本部を設置し、全ての本社業務を移行しました。大分の地で家電小売業として順調にチェーン展開を進め、地域での存在感を増していきました。

初代が直感的に意識していたのは、「時代の先端にあるニーズ」であったろうと考えます。創業100周年を迎えて、これまでの軌跡を振り返り、多くの人に価値を届けて社会への貢献とするDNAを、ミスターマックスの企業風土として受け継いでいきたいと襟を正しています。

総合ディスカウントストアという新概念 MrMax1号店を出店

まだ家電小売業を本業としていた1973年に代表取締役社長に就任した父・比左志は、早い段階から年に1度は渡米し、シアーズ・ローバックなどの百貨店を視察して回っていました。この頃、日本では家電の新製品が次々と発売されるとともに価格破壊の波が始まっており、家電量販店の未来を憂慮してのことです。

そして、1978年に先見の明を持つて決断したのが、日本では全く馴染みのない「総合ディスカウントストア」業態でのMrMax1号店の出店です。それまで成功を収めていた家電量販店から大きく舵を切る決断は、人生を賭するものだったろうと思いますが、周囲からも不安の声が多く、開店後半年は厳しい状況が続きました。

当時まだ大学生だった私も、両親から実践を持ってバイヤーとしての経験を叩き込まれ、苦境の乗り越え方を学んでいきました。

私自身は、大学卒業後にノートルダム大学院へ進み、1986年にミスターマックスに入社後、1987年にノムラ・セキュリティーズ・インターナショナル（米国野村證券）へ出向して研鑽を積んだのち、1989年にミスターマックスに復帰し、本格的に業務を開始しました。営業企画部長からスタートし、1992年の業務改革



5



3 1



6



4 2





平野社長

平成の米騒動、令和の米騒動 社会のピンチに挑み次世代の糧とする

私たちは総合ディスカウントストアとして、

本部長（現…情報システム部）時代には、POSレジ導入や、物流センター開設など、それまでに着手できなかった分野へのアプローチを進め、1995年に代表取締役役に就任しました。

当社の強みの一つが、マンパワーのレベルの高さです。特に昔から働いてくださっているスタッフの方の経験は、店舗運営には欠かせない存在となっています。しかし、生活のニーズや働き方、働く目的が時代とともに変容する中、蓄積した経験を、DX化の次世代にどう活かす、残して行くのか。注視しながら、ミスターマックスならではの楽しさや働きがいを生み出す場の創出を軸に、しっかりと向き合っています。

「価値ある安さ」の提供を通じて、お客さまの期待に応え、地域社会に貢献することを心掛けています。平成の米騒動と呼ばれる1993年に起きた米不足の際には、お客さまが困っている、どうか当社で販売できる方法はないかと、伝手を辿って方々からかき集めた米を粗利ゼロで1年間売り続けました。ほぼボランティアの精神で収益にはなりませんでしたが、想像以上に反響をいただきました。翌年以降も「米の販売を続けてほしい」というお客さまからの声が続々と届き、今でも「安くて美味しい米を買うならMrMax」と、皆さまにご愛顧いただくに至りました。

本年の米騒動では、備蓄米の入札条件が厳しく、企業として手を上げづらい状況がありました。それでも、困っている人がいる以上やるべきことは一つ、と腹を括り他社に先駆けて入札。当社の年間販売量の4割に相当する量を落札し、多くのお客さまに届けることが出来ました。

ピンチが訪れた際は、挑戦し続けることで新たな閃きが生まれるものです。そこで掴んだヒントを活かし、次へ繋げる。その繰り返しで、次のピンチをチャンスに変える体力がつくのだと思います。

小売業は、常に定価との戦いです。全ての店が定価でしかモノを売らなくなったら、平等ではあるが自由がない。それでは生活を豊かに、人を



11 9



7



10



8

1.対談風景／2.MrMax長住店の開店当時の写真を眺める／3.オムニ戦略室の業務を見学／4.商談室を訪問／5.1階受付フロアの年表を見ながら談笑／6.MrMax柏屋店を訪問／7.品揃えが充実した家電コーナー／8.お客さまの要望に応じて販売を続けてきた米／9.100周年を記念してメーカーとコラボしたパッケージデザインの商品を持って記念撮影／10.今回訪問したMrMax柏屋店／11.企業メッセージ



前列左から上田執行役員、石井上席執行役員、平野社長、五島頭取、山本本店営業部長（福岡銀行）

幸せにすることはできません。豊かさとは心が満たされることであり、楽しみを味わうことであり、笑顔になれる体験です。生活必需品においては「選ぶ楽しさ」や、「欲しいものをたくさん買える満足感」が豊かさや幸福感に通じます。

もちろん、ただ安ければ良いわけではありません。信頼と品質を、納得できる安心価格で得られる体験の提供こそが、ディスカウントストアの存在意義でしょう。私たちは、ハレの日ではない「普通の日」の営みを豊かにしたい。そのために、できる限りの努力を続けます。

人と環境の良循環を創出する 地域のインフラへ

100周年の節目にあたり、経営理念の再定義で体制の強化を目指すとともに、中期経営計画では3つの成長戦略「商品重点戦略」「成長戦略」「財務戦略」を設定しました。

2026年に予定しているPB商品のリブランディングをはじめ、地域ごとのニーズに適した店舗展開はもちろん、居場所にとられない自由な購買行動を支えるオムニチャネルの強化、M&Aでもたらされるシナジー効果の増幅など、国内外へ広くターゲットを捉え、長期的成長を目指します。

2029年2月期までの目標として、店舗

出店では25店舗の出店を目標に計画を進めており、小型店舗から大型店舗まで地域のニーズに適した店舗出店を構想しています。

オムニチャネルにおいてはEC売上高構成比10%を目標として、自社ECサイト「ミスターマックスオンラインストア」の利便性や品ぞろえの充実を進めています。2023年からは一部地域で最短5時間で商品をお届けする「即配サービス」を開始しました。アプリからでも簡単に注文ができ、一人ひとりの状況に合った買い物スタイルに対応することで高い利便性の提供を目指しています。

また、SDGsに対して、2022年には社内サステナビリティ委員会を設置し、マテリアリティに基づく取り組みを継続しています。2023年には九州流通サステナビリティサロンに参加させていただき、活動の波及に企業間連携が重要であることを実感しました。

こういったSDGsへの取り組みを評価いただき、2023年に九州の上場企業として初めて、シンジケートローンでのポジティブ・インパクトファイナンスを実行いただきました。環境と人との良い循環を目指し、経営理念に新しく加えた「暮らしのエンパワメント（あと押し）・カンパニー」としてミスターマックスに関わるすべての人のあと押しができると信じ、地域全体のインフラとして社会的責任を果たす所存です。

当社に関わる全ての人のエンパワメント 未来を描き続ける企業力を磨く

将来のビジョンとしては、ホールディングスとしてのグループ全体の繁栄の実現のために、事業展開を柔軟に進めたい考えです。中期経営計画に見えている課題の着実な解決と、創業時からのDNAである「変化対応業」の精神で、まだ見ぬ新たな未来を当社が率先して描いていくことを意識しています。そのために、アメリカや欧州が発信する各国の小売業の実態や、サステナブルな取り組み、ユニークな発想にアンテナを高くしています。

そして私たちは、お客さま一人ひとりの生活をあと押しし、豊かで便利で楽しい未来に近づくための「暮らしのエンパワメント（あと押し）・カンパニー」を目指しています。ここでいう「エンパワメント」とは、単にお客さまを応援するだけでなく、お取引先やステークホルダー、さらには従業員自身の人生をもあと押しするという意味を込めています。

新たなアイデアを創出するために見聞を広げ、そのアイデアが企業の存在価値を高めるものとなり、お客さまやお取引先、ステークホルダーの皆さま、さらには従業員の人生をエンパワメントし、心のゆとり、暮らしの豊かさを実現することを願って未来を描き続けてまいります。

■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 五島 久

当社のビジョンである、「暮らしのエンパワメント・カンパニー」。これは、「単にお客さまだけではなく、お取引先や投資家、さらには従業員の人生をもあと押しする」という意味だそうです。創業100周年にあたり、「お客さま、従業員、ほか全てのステークホルダーの皆さんに支えられて、ここまで来ることができた」という平野社長。その言葉に、ビジョンに込められた当社の強い想いを感じました。

当社に関わるすべての人の“普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく”をあと押しすべく、次の100年に向けた当社の未来への歩みに、私たちFFGも一緒にさせていただきたいと思います。





 熊本銀行

品質の良さにプライドあり。
熊本のソウルフード「南関あげ」を
全国へアピールするために。

しおやましょくひん
塩山食品株式会社

代表取締役
しおやま はるひこ
塩山 治彦氏

取引店／熊本銀行 玉名支店
福岡銀行 大牟田支店

■会社概要

創業:1949年／設立:1990年／所在地:熊本県
玉名郡南関町／資本金:1,000万円／従業員:
140名／事業内容:「南関あげ」の製造・販売、
食品製造卸・小売、特産品センターなんかん
「いきいき村」の運営

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





特産品センターなんかん「いさいき村」店内
(左から塩山社長、坂本頭取)

1枚1枚手揚げする 唯一無二の「南関あげ」

「南関あげ」は、玉名郡南関町で生まれた熊本のソウルフードです。当社の南関あげは現在、熊本、福岡を中心に北部九州ではスーパー、ショッピングモール、ドラッグストア、デパート、スカウトストアなどでお取り扱いいただいています。最近ではメディアにも多く取り上げていただいたことで、関東、関西からのご注文も多くなっています。

おかげさまで東京・銀座にある、熊本県のアテナショップ「銀座熊本館」における売り上げは2025年9月現在、いきなり団子、陣太鼓などの熊本を代表する銘菓に次いで第3位。当社にしか出せないふんわりとしつとも、もちもちとした食感、そして味染みの良さなどで、東京のいなり寿司専門店などからもご注文をいただいています。

創業は1949年、法人化したのは1990年になります。当初はラムネ製造から始まり、熊本の特産品である辛子蓮根のほか、コロケ、魚フライといった惣菜を製造する会社でした。思うように売り上げが伸びない中、1981年

から「南関あげ」の製造を開始しました。南関町では昔からある地元の特産品であるため、業界としては後発になります。

当社では、「南関あげ」のもととなる豆腐の製造にあたって、独自にブレンドした大豆を使用。元となる豆乳の濃度にも細心の注意を払っています。出来上がった豆腐は約6mmの厚みにスライスし、約1時間かけてプレス。水分を抜き、薄くて硬い豆腐にします。

ここからは手作業で、低温と高温のフライヤーで1枚1枚手揚げしていくと、とても大きなサイズの油揚げが出来上がります。それらを選別し、一つずつ決められたサイズにカットして、ようやく完成します。

「南関あげ」というと、1辺が20cm以上もあるような大きなサイズを思い浮かべる方も多いと思いますが、最近では1辺が10cmほどの小サイズ、お味噌汁などにそのまま使えるきざみタイプの需要が高まっています。

大手食品メーカーで修行後 19歳の工場長が誕生

私は工業高校を卒業後、当時父・治男が





塩山社長

2代目社長を務める塩山食品に入社しました。長男であったため、有無を言わず跡を継ぐことを決められていました。その道に進まざるを得ない代わりというわけではありませんが、高校時代からさまざまな資格に挑戦し、現在は10種類以上の資格を所有しています。その中で、第二種電気工事士の資格は工場の機械整備の際に役立っています。

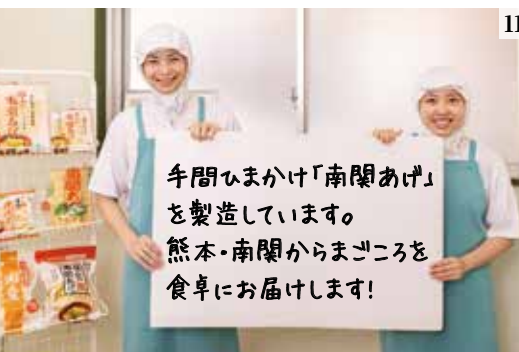
入社後は数カ月、熊本で納豆や豆腐、こんにやくなどを手掛ける老舗食品メーカー「マルキン食品株式会社」にて製造や営業、品質管理などを学ばせていただきました。その後、19歳で工場長を任されます。父はその頃にオープンした特産品センターなんか「いきいき村」の経営に乗り出し多忙であったため、工場は私に一任するような形でした。

弱冠19歳の私が担える職なのか、従業員も不安しかなかったと思います。ただ大手食品メーカーにおける品質管理、衛生管理などを見てきた私にとって、当社の工場の状況があまりにも違いすぎて衝撃を受けました。

衛生管理、品質管理を徹底 自社製品の品質にプライドを持つ

驚いたのが、バラバラな従業員の制服です。そこで制服を統一しようとした女性の従業員については動きやすさはもちろん、油污れにも対応できるような生地選びからこだわりオリジナルの制服を準備しました。それまで洗濯は各自家庭で行っていましたが、現在ではまとめてクリーニング業者に出しています。

また、製品や品質管理については、マニュアルどころか記録すらもない状態でした。職人たちの長年の勘に頼っているところが大きかったのです。そこで、これまでになかった製造マニュアルを作成。一人一人、意見が異なる部分を統一することに苦労しました。さらに外部の方にコンサルティングをお願いし、従業員教育のための社内トレーニング制度やOJTを整備。



11 9



7



8



10

1.対談風景／2.南関あげのもとになる豆腐の製造工程／3.出来上がった豆腐は約1時間をかけプレスし6mmの厚みにスライスする／4.5.一枚一枚手作業で丁寧に揚げられる南関あげ／6.職人が選別し手作業でカット／7.午後には売り切れる「いきいき村」名物の太巻き／8.南関米を使ったお菓子も販売／9.左上から、いなり・太巻き、南関あげ丼、南関あげうどん、南関いきいきラーメン／10.太巻きを試食／11.企業メッセージ



左3人目から塩山社長、坂本頭取、富永支店長(熊本銀行)

このように整えることで技術の継承も容易になり、一定の品質を保てるようになったのです。

2022年の社長就任後は、従業員がやりがいを持って働けるよう待遇改善にも乗り出し、基本給の引き上げを実施しました。当社は福岡県との県境にあり、どうしても最低賃金が高い福岡に人材が流れてしまいます。そうならないよう、新卒の初任給やパートの時給に関しては福岡県の相場に合わせるように努めています。

今では従業員全員が、品質管理にプライドを持って取り組んでいます。実はこれらを徹底したことでクレームが激減しました。一時は、他社が安い値段で参入してきたこともあったのですが、当社では味に絶対の自信を持ち、値段を下げることはしませんでした。

当社の油揚げは賞味期限が3カ月と長く、美味しさを保ち続けなければなりません。これを実現するため、揚げる油の鮮度が落ちないよう短期間で油を交換するようにしています。このような地道な努力を積み重ねた結果、柔らかすぎず硬すぎず、もちもちとした食感で味染みが良い油揚げが生まれるのです。

従業員のモチベーションアップで 「いきいき村」の売り上げも好調

「いきいき村」は、非常に多くのお客さまにご利用いただいています。その理由はこの地が、福岡や佐賀にも近い地域であることが大きく関係しています。すぐ近くの平山温泉や山鹿温泉といった人気温泉地へのお出かけの行き帰りに、「いきいき村」を利用してお食事やお買い物を楽しんでいただいています。

人気商品は、ここでも購入できない「南関あげ」を使った巻き寿司です。大きなサイズの「南関あげ」を使った太巻きは特に人気商品となっています。またレストランでは新メニューも次々と開発しました。「南関あげ丼」や「南関あげうどん」といった定番メニューのほか、「南関いきいきラーメン」や肉の代わりとして南関あげを使った「南関あげカレー」も好評をいただいています。

これまで曖昧だった価格設定について、私が社長就任後は、現場の責任者に権限をもたせました。それぞれが責任を持って粗利計算をしたうえで、適正な価格での提供を行っています。このことは、現場の従業員たちのモチベーションアップにもつながっています。

原材料の価格高騰を踏まえ 商品の価値を見直す

現在、使用している大豆はアメリカ、カナダ産です。しかし日本向けの輸入が厳しくなりつつあり、新たな仕入れ方法を見出さなければと考えているところです。油の価格も高騰しているのですが、こちらは大型貯蔵タンクを設置し10t単位で購入することで、すでに解決できています。

これらの原材料費の高騰や人件費の確保のために、商品の価格見直しも考えています。とはいえ、人気の商品はなるべく価格を変えることなく、例えば大判の「南関あげ」は手間ひまもかかるため、よりプレミアム路線での打ち出しを考えています。

商品の需要は今後も安定して続いていくと考えられます。幸い、著名人の「南関あげ」ファンの方たちが私たちの商品をアピールしてくださり、メディアで紹介された直後は注文が殺到しています。九州全域はもちろん、全国に「南関あげ」の知名度を上げていくために、さらなる次の手を考えていく所存です。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 坂本 俊宏



熊本のソウルフードとして、最近は県外での人気も高まってきている「南関あげ」。その「南関あげ」製造のトップメーカーとして、歩み続けてられました。3代目となる塩山治彦社長は、若いときからさまざまなアイデアを持って「南関あげ」の知名度アップに貢献されてられました。

最近では、このふんわりもちもちとした食感、味染みの良さで、九州以外でもファンが増えているかと思います。熊本が生んだ郷土の味を、さらに全国に広めていただけることを期待しております。



十八親和銀行

「工場の心臓」、ほんだポンプ。

唯一無二の100%オーダーメイドで
最適な液体移送ソリューションを届ける。

ほんだきこう
本多機工株式会社

代表取締役社長

りゅうぞう けんすけ
龍造寺 健介氏

取引店／十八親和銀行 福岡中央支店

■会社概要

創業:1949年／設立:1951年／所在地:福岡県嘉麻市／資本金:9,000万円／従業員:146名／事業内容:産業用特殊ポンプの開発・設計・製造・販売・保守・メンテナンス／事業拠点:(本社、工場)福岡県嘉麻市(支店)東京都千代田区、大阪市北区／関連会社:本多商事株式会社、有限会社本多興産

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





本社受付前(左から龍造寺社長、山川頭取)

高度成長期の日本とともに発展 アメリカで経営手腕を磨いた 四代目へ承継

当社は1949年に長崎出身の本多初義^{はつよし}が福岡市中央区で本多機工商会を創業したのが始まりで、1951年に本多機工株式会社を設立いたしました。以来、ポンプ一筋に100%オーダーメイドの受注生産を行っています。設立当時、日本では戦後の復興や高度経済成長期を迎え、日本中で工場建設やインフラ整備が進んでいました。当社のポンプに対する需要も旺盛で、福岡市博多区内への工場移転や新たな工場を新設するなど順調に事業を拡大してきました。そうした中、J R博多駅新設という一大プロジェクトが立ち上がり博多区を中心に大規模な土地が必要となりました。このことがひとつの契機となり、一念発起して1974年に福岡県嘉穂郡稲築町（現・嘉麻市山野）へと本拠地を移すことになりました。

当時の嘉穂郡は炭鉱の跡地でありましたが、本多初義は、従業員が家族と住むための団地を建て、従業員全員を引き連れて嘉穂郡へ向かったそうです。経営者としての一大決心だった

ことは想像に難くありませんが、福岡市にあった既存3工場を一カ所に集約した工場を新設して、生産工程の効率化を実現するに至ったことは間違いなく先見の明があったといえます。

私自身は17歳からアメリカへ留学し、高校・大学と通学しながら、カリフォルニアでオープンした日本食レストラン「YOSHIS」のアルバイトに勤めました。その後、アメリカでレストラン事業を展開する大手日本企業にヘッドハンティングされ、現地代表としてカリフォルニアやハワイでレストランの立ち上げと運営を手掛けました。

永住権を取得しアメリカを本拠地として生活する中で、本多の娘である妻と知り合い家庭を築いたのですが、義父・本多初義が逝去、その10年後に二代目社長を務めた本多賢二^{けんじ}が逝去したことから、私に後継の声掛けがありました。すでにハワイで生活の礎を築き始めていた私は即座に引き受けることはありませんでしたが、三代目社長にプロパーの工場長であった福島敏夫^{としお}が就任したのち、「日本で自分の腕を試そう」と覚悟を決めて帰国。一社員として現場を学ぶことからスタートし、2005年に四代目社長を承継いたしました。



3 1



4 2



5



6

ほんだポンプを躍進させた ステンレスポンプとオーダーメイド

当社が道を拓いた最初のきっかけは、鉄製ポンプが一般的であった1967年に、他社に先駆けて、耐腐食・耐摩耗のステンレス製ポンプの生産を開始したことです。ほんだポンプは「工場の心臓」として、多岐にわたる産業分野で採用されるようになっていきました。

それでも、粘性が高い液体を扱う場合など、ポンプの性能が十分に活かしきれない現場は少なくありません。技術の進歩に合わせて複雑かつ多様化するニーズに応じるため、「100%オーダーメイドポンプ」製造の体制を構築し、ニッチな分野の展開に注力しました。今では石油化学や半導体、医療分野、食品



龍造寺社長

メーカーなど、あらゆる業種の方々からご相談をいただいています。

オーダーメイドの受注生産へシフトしたことにより、従来の課題であった「売って終わり」の姿勢も改めることができました。ポンプは回転部が摩耗しますのでアフターメンテナンスは必須です。独自性の高い製品の提供は、その機能を知り尽くしたアフターメンテナンスの質と技術が求められます。そうした環境が人財の育成につながるとともに、永きにわたるサービス提供とほんだポンプの信頼を築いていきました。

大手メーカーが台頭する中、当社は国内の主要メーカーをはじめ世界65カ国以上の取引があり、国内外の国家プロジェクトにも採用いただいています。現場主義を徹底し、クライアントから相談や提案を受けた際には、世界のいずれの場所であっても現場へ向かい、対応しております。

**グローバルに活躍する人財の育成
独立心を応援し自由に翔ける環境を**

日本を始め世界各国で需要を伸ばす当社



11 9



1.対談風景／2.本社1階に並ぶ各種製品／3.設計部門オフィスを見学／4.世界に誇る「ほんだポンプ」／5.製品細部の説明を受ける／6.広大な工場内敷地。天井には自然光を取り込む採光口がある／7.オーダーメイドを実現する高い技術力／8.出荷を待つ製品の数々／9.スリランカ出身の社員ナマラさんと談笑／10.創立記念Party／11.企業メッセージ





最前列左4人目から龍造寺社長、山川頭取、島支店長兼福岡営業部長（十八親和銀行）

の宝は、グローバルな人財です。九州を中心に、日本の大学に留学して学ぶ優秀な外国人学生の方々が、製造からメンテナンスまで一貫して受注できる体制に魅力を感じてくれ、入社後には即戦力として海外展開を支える存在になっています。

当社では、外国人社員も日本企業の現場を一から学び、本多機工の社員としての意識と知識を身につけてもらいます。その後、自国で独立したいという場合は積極的にサポートします。将来にわたって相互に信頼関係を築きながら、日本と海外、当社と海外企業との架け橋として、大いに活躍してほしいと願っています。もちろん、日本人社員も海外の現場へ送り、海外事情を意欲的に学べる機会を設けております。

不安定な世界情勢の中でも、国内生産にこだわり、メイドインジャパンのクオリティに誇りを持つてお届けしています。確かな品質と誠実なもののづくりを追求し続けることが、独立して活躍してくれている社員への感謝と信頼の証であり、彼らが胸を張って当社の製品を取り扱えるよう、品質と技術力を磨き続ける所存です。

「感動」がチャレンジ精神を生む 心に響く仕事を 全ての社員に経験させたい

当社のモットーの一つである「感動」は、すなわち仕事への感動、心をふるわせる経験であり、それがチャレンジ精神の原動力になると捉えています。例えば、2011年東日本大震災に関連した案件では、風評被害の問題もあり受注を簡単に決断できる状況ではありませんでしたが、有事発生下の社会の安全を願う一心で、請け負うこととしました。困難な現場で、当社の製品が今も問題解決への一助を担っています。九州に進出した海外半導体メーカーにも採用され、新たな時代を担う工場に、自分に関わる製品が使われていることに感動を覚える従業員も少なくありません。その熱量が、新たなチャレンジにつながると思っています。

当社近くの国道沿いのある場所に、『感動する心を大切に』とのキャッチコピーを掲げた企業の看板を設置しています。これは社員に向けたものであると同時に、私自身の意識を高めるメッセージでもあります。毎朝の出勤時にこの看板を見て、「従業員が感動できる

仕事を獲得しよう。それが自分の使命だ」と胸に刻んでおります。

業界のニッチトップへ 世界で躍動する100年企業を目指す

オーダーメイドポンプは、液体移送のソリューションであり、まだ見ぬ未来の技術へとつながるものです。大量生産できないニッチで高度な領域のニーズに応えることが使命であり、当社を育てていただいた地域への貢献になると考えています。さまざまな企業が新たな挑戦に向かうとき、そこには必ずポンプが必要になります。ほんだポンプはその挑戦を支え、共に生きる存在であり続けます。今後も世界は刻々と情勢を変化させて行くでしょう。中でも、インドにおける昨年度のGDP成長率の高さは目覚ましく、大きな発展が予測されます。かつて長崎が出島として日本と世界をつないだように、九州はアジアの玄関口という役割を担っています。当社も九州に拠点を置く一員として、アジアそして世界に向けてほんだポンプの高品質・高技術を安定的に提供し続け、世界で活躍する「100年企業」を目指してまいります。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦



国や企業の発展にとって欠かせない「工場の心臓」というべき製品を、オーダーメイドに徹して開発される技術力と対応力の高さは、他社の追随を許さないものとなっています。また、あらゆる困難な状況に最適解を提供する真摯で誠実な姿勢が、国境を超えて世界の注目を集めている理由なのだろうと改めて感じさせていただきました。グローバル体制を整え、ジャパंकオリティを安定的に届ける当社の「100年企業」への歩みが、今後ますます発展されることを期待しております。



 福岡中央銀行

青果物から自動車部品、医薬品まで
豊富な車両で、安心・安全に届ける。

白木^{しろき}運送^{うんそう} 有限会社

代表取締役社長
黒木^{くろき}正史^{まさふみ}氏

取引店／福岡中央銀行 八女支店
福岡銀行 筑後支店

■会社概要

創業:1955年／所在地:福岡県筑後市／資本金:
600万円／従業員:52名(2025年9月現在)／
事業内容:一般貨物自動車運送事業、軽油販売
事業、倉庫業／グループ会社:筑後物流有限会社、
黒木倉庫株式会社、有限会社ハイブローデン

会社ホームページは
こちらからどうぞ！





本社前(左から黒木社長、荒木頭取)

タケノコ、ミカンなど 八女の特産品を運ぶ

「白木運送」は、もともとは福岡県八女郡白木村（現・八女市立花町）で、私の祖父・黒木精一郎が創業しました。「なぜ名前が黒木なのに、白木なのか」と聞かれるたびに、この由来の話をさせていただいています。

創業以来、事業の主力は青果物の運送です。白木村周辺は、もともとタケノコとミカンの栽培が盛んなところでした。私たちが最初に手けたのは、そんな八女の特産品の運搬です。私も幼い頃から、ミカンの最盛期になると父に連れられてミカンの集積場でお手伝いをしました。小さな頃はただ遊んでいるだけでしたが、小学校高学年にもなると体力もついてミカンの集荷を手伝うようになりました。その頃から「この仕事をいつか継ぐんだろうな」という気持ち芽生えていたように思います。

その当時、八女は日本有数のタケノコの産地でしたが、次第に集荷量が減ってきました。そして現在の主力となっているのが、キウイフルーツです。あまり知られていませんが、福岡県は全国有数のキウイフルーツの産地で、J A

単体で見るとJ Aふくおか八女の出荷量は全国でもトップクラスになっています。

豊富な車両所有を強みに 運送貨物を拡大

自然の恵み豊かな八女ですが、今後は生産者の後継者不足などにより、青果物の生産量・出荷量が次第に減っていくことが予想されます。そのため二代目である父・黒木建一の代から徐々に、冷蔵・冷凍・アイス、産業廃棄物、海上コンテナ、その他の一般貨物へと取引を拡大していきました。

現在、運送量として季節による変動が少なく安定しているのが医薬品です。

ただ、医薬品の運送において問題となるのが温度管理です。通常の医薬品でも管理は厳しいのですが、特にワクチンは、運送中の温度が厳格に決められています。当社がその厳しい条件に対応できる車両を所有していたことから、この分野への進出が可能となりましたが、運送には非常に気をつけています。

また、昔に比べ取り扱いが増えているのが自動車関連です。北部九州では自動車産業が





黒木社長

トラック運転手から出発 突然の「交代」のひと言

盛んで各地に工場が集積しています。当社でも、そうした流れの中で部品の運送を開始しました。部品ごとに専用のトラックが必要になるため、これもまた当社の運送力があつてこそ対応できる仕事だと考えています。

以前は運送会社が乱立し、それぞれがライバル関係でした。しかし今では、各社が協力し合いながら地域の運送業を守っています。お互いに情報交換をしながら運送業全体が安定して継続できるよう努めています。

私はビジネス系の専門学校を卒業後、21歳で白木運送に入社しました。父からはまず

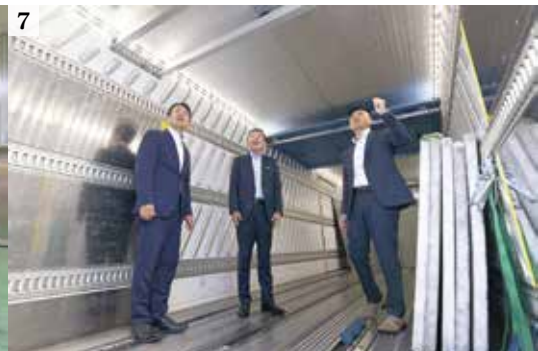
現場を学ぶように言われ、4トン車の運送業務からスタートしました。その後は、10トン的大型トラックで関西・関東への長距離便も経験しました。経営などの勉強も好きだったので、トラックの運転も楽しく、「天職ではないか」と感じるほどでした。

4年間でトレーラーやダンプなどをほぼ経験した後、次に現場の責任者を任されました。現場で最も大変だったのが「Aふくおか八女でのタケノコの出荷です。その頃はまだ生産量も多く、最盛期には毎日出荷作業が終わるのが遅くなることも珍しくありませんでした。市場ごとに振り分ける必要があります、3月後半から4月にかけては、ほぼ休みなし。その頃は「桜の下で花見がしたい」と、よく思ったものです。

32歳の頃には、配車や営業なども一通り経験し、経営にも携わるようになっていました。社長である父のもとで、会社のことを学びながら経験を積んでいくのだろうと思っていた矢先のことです。2009年7月、私は社長室に突然呼び出されました。しばらく黙っていた父からひと言、「交代」とだけ告げられました。予感があったものの、私も5秒ほどは考えた



11 9



1.対談風景／2.会議室に飾られた会社の歴史資料を前に社長が解説する様子／3.事務所を見学／4.社屋内に坪庭を設け、開放感ある空間に／5.6.大型トラックの運転席に座り、ドライバーの視点を体験／7.冷凍トラックの荷台を見学／8.荷捌き場／9.温度管理されたチルド倉庫で米を保管／10.地域の特産品である海苔や果物をチルド倉庫で保管／11.企業メッセージ



前列左2人目から黒木社長、荒木頭取、森支店長(福岡中央銀行)

と思いますが、潔く承諾しました。そして翌月、33歳を迎え、9月に社長に就任したのです。

「即決」と「修正力」

収益性重視で売り上げUP

社長に就任はしましたが、父も会長として現役ということもあり、特別何かを変えるのではなく、これまでの業務を変わずに続けることを目標としました。お客さまの反応はさまざまで、新規のお取引先では、若い私が社長であることをなかなか受け入れてもらえないところもありました。

ただ、大きく変わったのが「即決」をしなればならないことです。私はどちらかというと慎重派で、商談の際には「一度持ち帰って検討します」というタイプでした。ところが、自分が社長になったことで、持ち帰ることができなくなりました。「即決」する際に怖いのが、失敗です。そこで、失敗したとしても早く軌道に戻す「修正力」が重要と思うようになりました。

先代がアクセル全開で走るタイプなら、私は常にブレーキを踏みつつ進むタイプです。業務改善については、無駄のない業績アップを

目指し、お客さま別・車両別に実績を洗い出し、少ない車両でいかに収益を上げていくかを考えました。その結果、社長に就任した当時64台あった車両は、現在46台。車両数は減ったものの、今のほうが収益性は高まっています。

倉庫部門を担当する「黒木倉庫株式会社」についても順調です。ただ、倉庫業は一時期のブームが落ち着いたこともあり、今は焦らずにチャンスを待っているところです。敷地にはまだ余裕があるので、見込みではなく確実なお取引が確定した後に建設に入りたいと考えています。

「筑後物流有限会社」とあわせて、グループ全体の経理・人事・総務などの管理業務については「有限会社ハイブローデン」に集約しています。

働く環境を整え ドライバー不足を解消

業界全体で課題となっているのが、深刻なドライバー不足です。幸いにも、当社ではドライバー同士の紹介によって採用が決まるケースが多くあります。これは当社で働くドライバーが

知り合いに勧めたくなるような、働きやすい職場づくりを心がけてきた結果ではないかと考えています。

大きな転機となったのが、7年前の本社の新築移転です。物流や運送会社という古い印象を持たれがちですが、当社では社屋をきれいで快適な環境に整え、若い人にとっても魅力ある職場づくりを進めています。また、社員を大切にし、社員が満足できる環境を整えることを重視しています。私自身も、できる限り社員の声に耳を傾け、少しずつでも意見を取り入れていくよう努めています。

今後の課題は管理職の育成です。現在の管理職には、先代の時代から長く会社を支えてこられた方々が多く、皆さんが引退される年齢に差し掛かっています。私の両腕となって支えてくれる若手が育ってくれることは、これからの会社の成長にも欠かせない要素だと感じています。

さらに、異業種への進出も視野に入れています。青果物の取り扱いには減少傾向にあります。が、全体的にみると運送業や倉庫業は今後も安定した収益が見込めます。事業の幅を広げ、会社の基盤をより強固にするため、これからも挑戦を続けてまいります。

■ インタビューを終えて

福岡中央銀行 取締役頭取 荒木 英二



豊富な車両を活かした安定した実績を背景に、八女・筑後地域で70年にわたり地域とともに歩んでこられました。特産品の運送から始まり、現在では自動車部品、冷蔵・冷凍・アイス、医薬品など、幅広い分野に対応されています。

運送業界ではドライバー不足が深刻な課題となっていますが、当社では働きやすい環境づくりに力を入れ、安定的な人材確保を実現されています。北部九州の物流は大手企業も進出するほど盛んで競争も激化しています。その中にある安心・安全な運送で、今後も着実に成長されることを期待しております。

Topics of the month

地域とスタートアップが共に挑む — FFGみらいの会議を開催 —

FFGは2025年10月10日(金)、ワン・フクオカ・ビルディングにおいて「FFGみらいの会議」を開催しました。九州最大級のピッチイベント「StartupGo!Go!2025」とも連携し、スタートアップのみならず、FFGのお取引先、全国各地から多彩な業種・分野の参加者が集結。初開催ながらも来場者は1600名超、企業同士のマッチングは200件超となり、地域を越えた出会いの場となりました。

FFGみらいの会議は、「地域とともにみらいの可能性を育てる」をテーマに、地域企業・スタートアップ・行政・大学など多様なプレイヤーが集うプログラムを展開。講演、セッション、展示、商談会、スタートアップピッチなど多彩な内容で構成され、会場全体が熱気に包まれました。

また、オープン・エナジー ジャパン OpenAI Japan 合同会社代表執行役社長長崎忠雄氏による基調講演や株式会社トリアルホールディングス取締役石橋亮太氏いしばりやうた・みんなの銀行永吉頭取によるセッションなど、多彩なコンテンツも実施しました。

そして、同時期に福岡市内で開催されていた「ラーメン テック RamenTech」とも連携し、街全体がスタートアップとイノベーションで盛り上がる一日となりました。スタートアップが福岡から全国、そし

て海外へと展開していく可能性を感じさせ、地域の活力を象徴するイベントとなりました。

FFGでは、共創拠点「GROWTH1」を中心に、スタートアップと地域企業の協業支援、新事業創出プログラム、マッチングイベントなどを継続的に展開しています。こうした取り組みを通じて、地域企業の課題解決やスタートアップの成長支援を推進し、新たな事業連携やマッチング事例が生まれています。今後も「FFGみらいの会議」をはじめ、年間を通じたイベントやプログラムを通して、多様なプレイヤー同士の共創をさらに加速し、「一歩先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。」の実現に向け挑戦を続けていきます。



五島社長のビデオメッセージによる開会挨拶



長崎忠雄社長 (OpenAI JAPAN)



FFG新規事業創出プログラム「共挑」2025の集合写真



トライアル×みんなの銀行の対談



Terrace Hallでのセッション



スタートアップピッチコンテストで最優秀賞に輝いた高橋優人社長(右・mizuhachi株式会社)と成瀬専務(左・福岡銀行)



商談会場の様子

新コンテンツのご案内

弁護士

税理士

公認会計士

社会保険労務士

WEB

相

談

ス

ク

エ

ア

人事・労務などでこんなお悩みはありませんか？

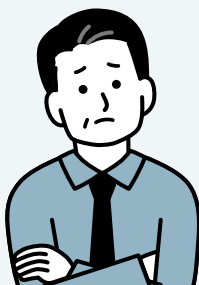


パワハラ防止の観点で気になるところがあるけど、
弁護士に相談するほどでもないしお金はかけたくないな…

給与制度の小さな見直し、
これで良いのか裏付け確認したいな…



ニュースで見た人事労務の気になるポイント、
わが社にも導入したいけどどうすればいいんだろう…？



**経験豊富な専任スタッフが
弁護士などの専門家と連携し
お悩み解決をサポートします！**

会員なら
何度
相談しても
無料!!



**24時間いつでも
相談登録が可能**

相談回数は無制限。
労務管理・社会保険など、
ビジネスの疑問を納得いくまで
相談できます。

Web相談・Web回答

おおむね4営業日以内に
Web経由でご回答。
文章が残るので便利です。

**相談&回答内容は
暗号通信技術で保護**

経営上の機密情報や
プライバシーが守られます。

次のようなご相談には対応しかねます。

- ・紛争事案に係るもの。
- ・契約書の全量チェック等、**個別具体性が高く、状況による判断が求められるもの。**

従来の相談FAQ

これまでの相談内容の閲覧が可能



「相談FAQ」では、これまでに寄せられたご質問の回答のなかから、皆さまのお役に立ちそうなものを選んで編集した「質問&回答データベース」をご用意しています。

こんなFAQが
掲載されています

- ・ ハラスメント調査で被害者と加害者の証言が食い違う場合の対処法
- ・ 残業を事前許可制にできるか？
- ・ 外国人労働者を雇用する場合の注意点
- ・ 【印紙税】印紙の貼付漏れがあった場合のペナルティ

相談FAQを読んでみたけれど、
マッチする質問と回答がなかなか見つからない…
誰に聞いたらいいのだろう…



新サービス導入後

相談FAQの閲覧に加えて、 個別で質問が可能になりました！



ホームページの「相談」タブより相談内容をご登録いただくと、事務局スタッフが各分野の専門家にお取り次ぎし、おおむね**4営業日以内**に回答をお送りいたします。

インターネット情報サービスの
相談機能を使って
相談してみよう！

いただいた相談を
整理しスムーズに専門家
にお取り次ぎします。

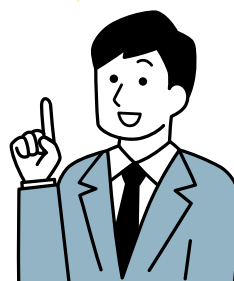
経験豊富な専門家が疑問や
お悩み解決を
サポートします。



会員様



事務局



専門家

24時間いつでも登録可能！ぜひご活用ください！

※ご相談内容の回答はメールにて通知いたしますので、マイページからメールアドレスの登録をお願いいたします。

お申込み
お問い合わせ先

TEL.092-723-2241
FAX.092-721-9258

株式会社FFGビジネスコンサルティング内
FFG経営者クラブ事務局
〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1
受付時間 9:00～17:00 (但し、銀行休業日は除く)

私たちFFGは
「地域に真のゆたかさ」を実現するため、
様々な分野での地方創生に取り組んでいます。
地域と人と企業を結ぶFFGならではの視点で、
地域の魅力とそれを支える人々のストーリーを
紹介していきます。

地域と銀行、つながるバトン。

昨日から今日、今日から明日。

私たちは、バトンのように日々を送る。

そこに、誰かの「こうしたい!」が加われば。

日々は生き生きと色彩を持ち始める。

地域を変える活力も、初めは小さな願いから。

地域と銀行がバトンで繋がったとき、新しい物語が、始まります。



自治体が海外でセミナー開催！ 台湾企業へ直プロモーションを 成功させたストーリー。

熊本市／八代市×熊本銀行（ふくおかフィナンシャルグループ）

2025年第2四半期には70%を超える世界シェアを獲得した半導体製造大手のTSMC（台湾積体回路製造）。その日本人であるJASSEMの第1工場（熊本県菊陽町）が2024年12月から稼働を開始しました。さらに第2工場の建設も始まり、周辺自治体の多くがこのチャンスを地域経済に活かすべく、関連企業の誘致といった新たなビジネスの獲得に力を入れています。

FFGでも、これに関連したさまざまな案件に関わる機会が増えています。その中から、台湾国内で説明会を実施した熊本市と八代市の事例をご紹介します。

熊本市は2025年9月に、台湾の台北市で「熊タイプイ本市企業誘致セミナーin台湾」を開催しました。昨年に続き2度目となる、海外企業を対象とした誘致セミナーでしたが、前回は11社上回る63社80名の方が来場。このイベントのコーディネートに携わったのが、熊本銀行ソリューション営業部です。会場選定や通訳手配といった事務的なサポートをはじめ、熊本進出に興味を持つと思われる企業への周知など、福岡銀行台北駐在員事務所と連携して準備を進めていきました。また運営面のみならず、セミナー当日は登壇者も務め、外国企業が熊本で事業展開する際に必要となる口座開設や登記といった

ビジネスサポートについて、地元の銀行という立場からプレゼンを行いました。

セミナー翌日には、台湾にある半導体関連企業を訪問。その際も、現地事務所のネットワークを生かして熊本への投資意欲の高い会社を訪問先として事前に選定。海外進出に対する考え、支援に関するニーズなどについて直接対話できる機会となりました。熊本市経済観光局企業立地推進課の岡島課長も、「熊本銀行さんのご尽力のおかげで、短期間で台湾企業と多くの接点を持てた。福岡銀行台北事務所の存在がありがたく、安心感がありました」と感想を述べられ、無事役目を果たすことができました。

八代市は、TSMCの本社があり台湾の半導体拠点とも言える新竹市で「八代港セミナー in 台湾」を、2025年9月に開催しました。台湾と日本の運輸業や製造業などに携わる80人が参加。八代市からは小野市長自ら、八代市や八代港の魅力をPRし、港湾・クルーズ振興課の高田課長は、国際コンテナ航路の定期便を持つ八代港の利用促進を呼びかけました。

八代港と台湾の主要な港を結ぶ航路は2021年にスタート。県内唯一の台湾航路として、八代のほか、那覇や大分、松山、韓国釜山など10の港を巡っ

ています。輸入の場合は台湾出航後4日で荷揚げ可能で、輸出も8日後には台湾に到着します。高田課長は「水深が深く大型コンテナ船の停泊も可能な八代港に、半導体製造に関連した各種資材、高圧ガスや化学品の荷揚げに適した環境が整備されています。八代は新幹線や高速道路など陸上アクセスも良いため、八代港は海上物流拠点としても最適。これからもっと活用してもらいたいです」と、今後の展開に期待を寄せています。

そんな八代港をすでに活用している、化学品総合物流のエスアールエス株式会社にも、八代港を利用した物流網の構築について発表していただきました。半導体関連の温度管理化学品や高圧ガスなどの輸出入・保管を行う同社は、八代港について、菊陽町まで車で約1時間という地理的なメリットはもちろん、県内唯一の危険物を取り扱える港という点も大きな特徴であるとわかりやすく説明。参加した荷主企業や船社・港湾事業者も、興味深く聞いていました。

八代市のセミナーも熊本銀行ソリューション営業部がサポート。今回が初開催でしたが、現地でのさまざまな突発的なことにも丁寧に対応してもらえたこと、ご満足いただけたようです。今後もグループの多彩なネットワークを活かしたサポートをさらに広げてまいります。

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

地方創生に関するお悩みをご相談ください。

- 観光振興
- 産業振興
- まちづくり
- 産学官金連携
- 地域資源活用
- 情報発信 など



写真：熊本銀行ソリューション営業部
(左から大畑、西田、土田)

お問い合わせ

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
TEL: (092) 723-2254
MAIL: bankbaton0101@fukuoka-fg.com

記事の全編は
こちらから

本記事は、bank batonに
掲載された内容のダイ
ジェスト版です。

記事の全編は以下のWEB
ページにてご覧いただけ
ます。



[https://www.fukuoka-fg.com/
bankbaton/story/16/](https://www.fukuoka-fg.com/bankbaton/story/16/)



海外駐在員事務所が伝える

グローバルの今

FFGでは、独自のネットワークを活かしてお客さまの海外ビジネスを総合サポートしています。

今回、ニューヨーク駐在員事務所の木立駐在員に現地の情報やビジネスについて伺いました。

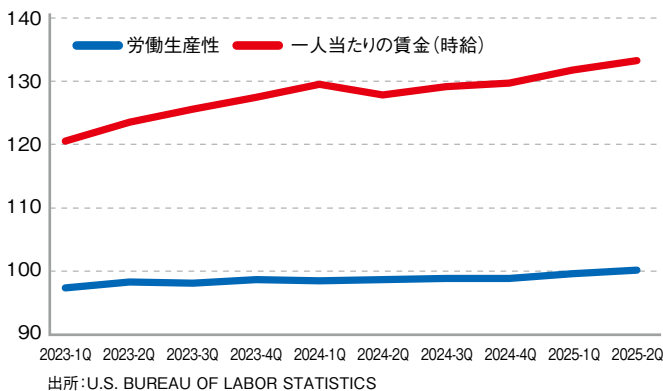
Question 1

現地の状況について教えてください

A 米国の事業環境を読み解く上で、「関税」は引き続き重要なテーマです。大型減税政策である One Big Beautiful Bill Act が成立した米国にとって関税が重要な収入源となっていることから、関税政策はある程度継続されるとの見方が強く、多くのグローバル企業が生産拠点を米国内に戻すといったサプライチェーンの再編を迫られています。

しかしながら、米国内ではインフレと人件費の高騰が続いています。特に製造業では、熟練技術者の高齢化と若者の製造業離れによって、必要なスキルを持つ人材が質・量ともに不足するという深刻な課題に直面しています。現に、製造業における一人当たりの賃金（時給）は上昇しているにもかかわらず、労働生産性の伸びはそれに追いついておらず、結果として製品一つあたりの労働コストは増加傾向にあります（図1）。

図1：米国の賃金と労働生産性の推移（2017年を100とした場合）



このような状況下で、単に人手を機械に置き換えるだけでなく、テクノロジーを活用して事業全体の生産性を向上させる「自動化投資」が、多くの企業にとって待ったなしの経営課題となっています。

この自動化投資の波は、全米に広がっています。従来の自動車や半導体・エレクトロニクス産業に加え、近年ではプラスチック・ゴムやライフサイエンス・製薬・生物医学分野、その他一般製造業においてもロボットの発注額・台数が伸び

Question 2

ており、市場全体としての成長が見込まれています。

現地企業の声を聞かせて下さい

A こうした力強い需要を背景に米国でのビジネスを拡大しているのが、ものづくりの自動化・省力化、労働力の不足といった社会課題の解決に貢献する産業用ロボット・モーションコントロール・インバータ事業等を手掛ける安川電機です。同社の売上構成比において米州が占める割合は中国市場を上回る規模となっており（図2）、2025年6月には、ウィスコンシン州フランクリンに新拠点を設立し、分散していた機能を集約することを発表しました。その狙いについて、同社にお話を伺いました。

【安川電機様インタビュー】

私たちは、ウィスコンシン州に今後8年から10年かけて約1億

8000万ドルを投資し、現在イリノイ州に分散している拠点を新しいキャンパスに集約します(図3)。米国は製造業やサービス業の産業基盤が厚く、半導体などの成長分野においても大きな需要が見込めます。また、スタートアップや大学が企業と密接に連携しながら技術革新を加速させるエコシステムが形成されているのも魅力です。

今、自国生産の強化を基本と

図2: 安川電機の地域別売上収益構成比の推移

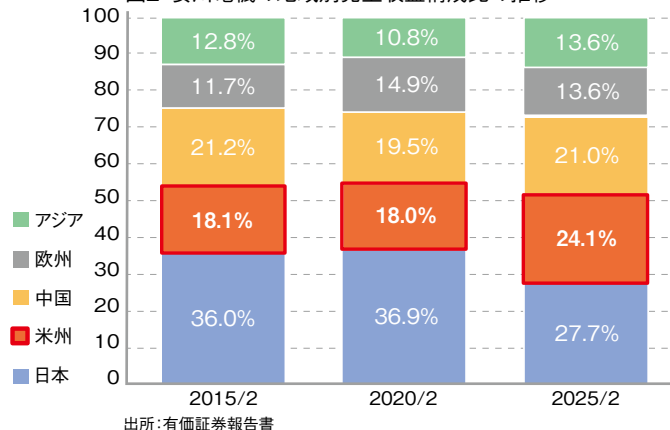


図3: 新設する本社の外観イメージ



出所: 同社ニュースリリース

した製造業の回帰の動きもあり、お客さまの現場では自動化・省力化へのニーズが急速に高まっています。このご要望に柔軟かつ迅速にお応えするため、現地での生産・販売体制を強化することいたしました。私たちが50年以上にわたる米国事業で培ってきた人材やノウハウ、そして工場のあらゆるデータをAIなどで分析・活用する独自のスマート向上コンセプト『i-Mechanics(アイキューブメカトロニクス)』の実践を通じて、生産性と品質の向上をさらに加速させます。これにより、米州

Question 3

市場での事業力を強化し、お客さまへの信頼度と満足度の向上を図りながら、米国経済の成長と発展に貢献していきたいと考えています。

**海外ビジネスを目指す
お客さまへメッセージを
願います**

A 政治的な要因とも絡み合い、ビジネス環境の不確実性は増していますが、人手不足という課題は日本にとっても決して他人事ではありません。米国の自動化投資の最前線を注視することは、米国進出をご検討の企業さまだけでなく、日本国内での事業展開を考える上でも多くのヒントを与えてくれるはずです。

ニューヨーク駐在員事務所では、現地のビジネス環境や最新テクノロジーの動向を調査しております。ご関心をお持ちの際は、どうぞお気軽にお声がけください。



**現地のおすすめや
過ごし方を
ご紹介ください**

ニューヨークの緯度は青森県とほぼ同じ。冬場は気温が氷点下になることもしばしばですが、そのなかで心を温めてくれるのがホリデーシーズンのイルミネーションです。

10月下旬、ハロウィンが終わらないうちにはやくも街なかでクリスマスの装飾が施されはじめ、公園ではマーケットやアイススケートリンクがオープンします。

他にも、のちに大統領となるトランプ氏もカメオ出演した映画の舞台となったプラザホテルや、ロックフェラーセンターの歴史あるミュージックホール「ラジオシティ」など、冬を彩るスポットが満載です。



海外展示会



セレクション

現地
おすすめの
展示会

大連日本
商品展覧会

大連

Dailian

展示会概要

大連市人民政府主催による「大連日本商品展覧会」は2008年からスタートし、中国で唯一の日系企業に特化した国際的な展示会です。毎年9月頃に定期開催され、これまで日本の40余りの都道府県から約3,800社の日系企業が展示・商談に参加しています。出展企業は食品、日用雑貨、衣料製品、工芸品、服飾、建材資材、養老介護製品など広範に及びます。



トピックス

大連市が所在する遼寧省は、日本企業を誘致して発展した歴史があり、現在1,800社以上の日系企業が進出し、日本の多くの自治体（20以上）と友好都市関係を有するなど、日本との関係が非常に深い地域であるという特徴があります。直近3年の遼寧省の貿易総額を見ても日本が最大の貿易相手国となっており、中国において日本企業が参入しやすい地域だ



JETROの「健康・福祉」をテーマにしたジャパン・パビリオン



一般消費者向けの直売ブース (BtoC)

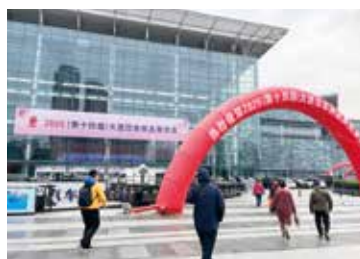
とされています。

14回目となった今回は、300社以上の企業・団体が出展し、来場者は6万人を超えました。本展覧会の特徴として、日本ブランドの商品を求めるバイヤーのみならず、展覧会情報がSNSで拡散されていることで老若男女問わず日本製品に興味のある現地消費者も数多く来場することから、テストマーケティングの観点からの出展をご検討いただいても良いかと思えます。

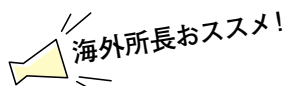
直売ブースには珍しい日本食材やお酒、健康グッズに陶器など幅広い商品が並び、多くのお客さまが次々と購入される賑やかな様子が見られました。

展示会開催情報





























名 称：大連日本商品展覧会
 開催期間：例年9月頃に3日間程度開催（本年は10月24日～26日開催済み）
 主催機関：中国国際貿易推進促進委員会大連市分会大連国際商会
 開催場所：大連世界博覧広場A、Bホール（大連市星海広場F区10号）
 その他：【入場資格】特段無し（一般消費者も入場可能）
 【出展対象】日本国の各都道府県、市町村、中日間の経済及び貿易に関連する業務に従事する日系企業、団体、メーカー、その他
 【商談対象】中国大連市、東北地方及び環渤海経済圏、その他各省（市、区）の関係企業、バイヤー、一般消費者
 ※詳細は主催者へ直接お問い合わせください。



本展示会の会場入り口



海外現地展示会一覧

	カテゴリー 主要商材	イベント名	開催期間 過去出展数/来場数	イベント概要	公式 サイト
香港 Hong Kong 	産業 文房具・雑貨	Hong Kong International Stationery and School Supplies Fair 2026 (HKCEC)	2026年1月12日～15日 2,600社以上/ 83,000人	「香港国際文房具・学校用品見本市」は、文房具、オフィス用品、筆記用具に特化した権威ある見本市。これらの業界におけるアジアで最も重要な仕入れプラットフォームの一つと見なされており、2,600社以上の出展者が参加する大規模なイベント。	
	産業 ベビー用品	HKTDC Hong Kong Baby Products Fair 2026 (HKCEC)	2026年1月12日～15日 2,500社以上 (34ヵ国) / 26,516人	授乳・育児用品、ベビーカー・ギア、寝具・家具、ODMベビーカーなど、新生児向けの基本アイテムからマタニティ用品まで幅広く網羅したアジア最大級の展示会。前回は世界34の国と地域から2,500以上の出展者が参加し、最新のベビー用品、革新的な文具、斬新なおもちゃなどが出展され毎年開催。	
	産業 エレクトロニクス	HKTDC Hong Kong Electronics Fair (Spring Edition) 2026	2026年4月13日～16日 2,300社以上 (20ヵ国) / 53,149人	本展示会は、世界有数のエレクトロニクス市場として認知されている展示会。各パビリオン毎にジャンルが分かれ、主な展示品は5G・AIoT、スマートホーム、ロボティクス、モバイルアクセサリをはじめ、バーチャルロボット、健康デックなども展示。また、主催者である香港貿易発展局のオンライン商談プラットフォームにより、展示会後も出展者との連携が可能。	
上海 Shanghai 	ホテル・飲食 食品関係	HOTELEX Shanghai 2026	2026年3月30日～4月2日 3,826社/284,581人	本展示会は、中国のホテル・飲食業界向け機器・資材・食材・サービスを一堂に集めたプロ向けの展示会。厨房機器、テーブルウェア、コーヒー&ティー、ペーカリー、アルコール飲料、フランチャイズ事業など幅広い分野をカバー。	
	産業 プラスチック、ゴム関連	CHINAPLAS 2026	2026年4月21日～24日 4,616社/281,206人	世界最大級のプラスチック・ゴム産業展。成形機械や高機能樹脂、リサイクル・バイオ素材、スマート製造技術など最先端ソリューションが集結。脱炭素・循環経済に向けた革新技術交流の場となる。	
	医療・健康 ヘルスケア	CHINA AID 2026	2026年6月4日～6日 519社/76,591人	上海民政局と上海国際貿易推進委員会が主催する中国最大規模の介護福祉展示会。日本からも自治体、企業の多くが出展。高齢者産業の需要増加に伴い、注目度の高い展示会となっている。	
大連 Dalian 	その他 アウトドア製品	ISPO Beijing 2026	2026年1月9日～11日 500社/30,000人以上	アジアの重要なプロスポーツ貿易プラットフォームで様々なカテゴリーが集う見本市。アウトドアスポーツ、ウィンタースポーツ等におけるスポーツテクノロジー/新素材、キャンプライフとアーバンスポーツの国内外の有名ブランドが一堂に会する。	
	その他 ギフト・雑貨	Gifts & Home Beijing 2026	2026年3月26日～28日 900社/39,139人	華北地域におけるギフトおよびホームプロダクトの販路開拓において20年の実績を誇る中国華北地域におけるフラッグシップイベント。新製品が北京に集結し、高品質なギフトサプライヤー、最新デザイン、そして最先端の業界トレンドが一堂に会する。	
	産業 HVAC関連製品	ISH China & CIHE 2026	2026年3月31日～4月2日 1,030社/77,468人	本イベントは、「HVAC(暖房・換気・空調)ソリューション」「エネルギーソリューション」「水ソリューション」「コンフォートソリューション」「設置とインテリジェンス」の5つの主要分野において、包括的なソリューション、将来の技術トレンド、そして新たな開発機会を展示。参加者には新技術や市場動向に関する貴重な知見を提供する展示会となる。	
台湾 Taiwan 	趣味・教育 ギフト・文具	台湾国際クリエイティブギフト&文具見本市 (DG Taiwan)	2026年4月16日～19日 299社/12,308人	台北世界貿易センターが主催するギフトや文具に関する展示会。前回は世界12ヵ国から参加。商品だけでなく、ブランドライセンス、製造、デザインリソースといったサプライチェーン企業が出展。流通業者、EC、百貨店のバイヤーも多数参加する。	
	農林水産・食品 酒類	2026 台北国際酒展・純酒展	2026年4月18日～21日 300社/40,000人	台湾の酒類専門展示会の中で食品や観光など他産業とは合同開催しない唯一の大規模展示会。開催歴は20年超で、台中、台南、高雄でも別時期に開催している。参加者は酒類メーカーやバイヤー等酒類ビジネスに関わる来場者が中心。	
	情報 AIoT	COMPUTEX TAIPEI 2026	2026年6月2日～4日 1,500社/約85,000人	中華民国対外貿易発展協会 (TAITRA) と台北市コンピューター協会 (TCA) が主催する台湾最大のAIoTに関する展示会。160ヵ国以上のバイヤー及び業界関係者に加え、エヌビディアやインテルなどの半導体大手企業等も多数参加。	
タイ Tai 	農林水産・食品 食品関係	JAPAN SELECTION 2026	2026年1月28日～29日 約50社/約3,000人	タイ現地の大手バイヤーが集結する日本産品のB2B総合見本市。農林水産品をはじめ、食品機械、IP(キャラクター)、インバンド、伝統工芸品、化粧品など、日本製品の輸出拡大を目指す。物流や現地販売許可の取得もサポート、初めての海外展開でも安心して参加可能。	
	自動車 自動車関連部品	Bangkok International Motor Show 2026	2026年3月25日～4月5日 50社以上/1,600,000人	ASEAN地域最大級の国際モーターショー。最先端の自動車技術、自動車、オートバイ、アクセサリなどが展示される。日本の展示会と異なり新車をその場で購入可能。	
	産業 機械・技術	Manufacturing Expo 2026	2026年6月17日～20日 約2,000社/約88,445人	生産ラインの効率性向上、コストの削減等を目指す製造業向けのイベント。プラスチック製造技術、金型、自動車部品製造機械、自動化および組立技術、表面およびコーティングソリューションの技術を有するブランドが、約30ヵ国から出展。	
ベトナム Vietnam 	産業 工業製品	VIMF 2026 - Vietnam Industrial & Manufacturing Fair	2026年4月15日～17日 200社/8,365人	大規模な工業団地や多くの多国籍企業が拠点を置く主要な産業・物流拠点であるハイフォンにて開催される製造業の見本市。金属加工品から3Dプリンター・スキャナー等、幅広い分野の展示が予定されている。	
	産業 塗料	Coatings Expo Vietnam 2026	2026年6月10日～12日 306社/6,832人	11回目を迎える本展示会は、ベトナムおよび周辺地域における塗料・カラー・スペクム・印刷インキが展示される予定。当該事業者の貿易を促進し、長期的なパートナーシップを育む、主要なビジネスプラットフォームとしての役割をさらに強化する見込み。	
	趣味・教育 ギフト・文具	VietOffice Expo 2026	2026年7月30日～8月1日 150社/5,850人	「文房具」「オフィス機器」「オフィス家具」「スマートオフィスソリューション」「教育関連」「オフィスアクセサリ&装飾品」など、多彩で創造的な展示エリアを提供し、文房具・オフィス業界における最新トレンドを発見・導入するためのインスピレーションを企業に提供します。	
シンガポール Singapore 	機械 航空関連機械など	Singapore Airshow 2026	2026年2月3日～8日 1500社以上/約50,000人	2年に1回開催されるアジア最大級の航空・宇宙関連(民間機、ビジネスジェット、ヘリコプター、軍用機など)の展示会。世界各国の政府高官や軍関係者、企業の上級幹部が集結。	
	機械 航空関連機械など	APM 2026 Asia Pacific Maritime	2026年3月25日～27日 710社/15,717人	2年に1回開催される海事業界(造船(船舶、作業艇)、海洋土木、港湾テクノロジー等)の展示会。日本からは日本海事協会(NK)を中心に船舶関連の部品・塗料メーカーなどで構成されるジャパンパビリオンが出展。	
	その他 食品、飲食業、サービス業	FHA 2026 - Food & Hospitality Asia	2026年4月21日～24日 約800社/約32,000人	食品、フードサービス、ホスピタリティ機器・用品の展示会。2025年は4月に「FHA 2025 Food & Beverage」という名称で食品と飲料に特化した内容で実施された。次回2026年は近年別日程で開催されていた食品およびホスピタリティ業界向けの見本市を統合し、大規模に開催予定。	

その他海外の展示会情報は、こちらのJETROサイトをご参照ください。





日本100名城
No.54



いろんなお城行ってます

1 おおさかじょう 大阪城

【住所】大阪府大阪市中央区大阪城1-1
【電話】06-6941-3044

2019年11月登城、2023年8月再登城。江戸時代に築城されたもので(写真①)、石垣の高さが豊臣時代の倍近くとなり堅固(写真②)。道頓堀ではお好み焼名店「美津の」(写真③)で食事して「天下の台所」を満喫。



大阪城HP



番外編

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

大阪ではUSJ内のクッパ城、hogwarts城にも登城(写真④、⑤)。



USJ公式WEBサイト

続日本100名城 No.158



時代考察も 2 ふくちやまじょう 福知山城

【住所】京都府福知山市字内記5番地
【電話】0773-23-9564

2022年6月登城。大河ドラマ「麒麟がくる」で有名になった明智光秀ゆかりの城(写真⑥)。築城にあたっては、一説には、治政に反抗的な近隣社寺を打ち壊した後の石塔類を利用(写真⑦)したとされており、時代背景を深く知っていく面白さがある。



福知山城HP

※本ページの掲載内容は訪問当時のものです。
※「日本100名城」は公益財団法人日本城郭協会が定めた呼称です。

続日本100名城 No.164



10

お城巡りが趣味の中野支店長が実際に行った日本全国のお城を紹介

Vol.13 近畿編②

お城巡り



「日本100名城」は公益財団法人 日本城郭協会が2006年に定めた日本の名城100選です。現在は「続日本100名城」も選定されています。



公益財団法人
日本城郭協会 HP

私がご案内します！



福岡銀行 野芥支店
なかの みのる 支店長

Profile 福岡県北九州市出身。1998年福岡銀行入行。門司支店を皮切りに箱崎、戸畑、総務広報部、宮崎、柳川支店で勤務。2017年バンコク駐在員事務所所長。2018年から大牟田、香椎支店の副支店長を務めたのち、2022年10月から添田支店の支店長、2025年10月から現職。趣味で2019年11月から3年7カ月かけて「日本100名城」「続日本100名城」掲載の200城を踏破。公益財団法人 日本城郭協会から登城認定を受ける。

日本100名城 No.53



8

9

見どころ満載

3 にじょうじょう 二条城

【住所】京都市中京区二条通
堀川西入二条城町541
【電話】075-841-0096

2019年11月登城、2025年5月再登城。江戸幕府終焉となる大イベント、大政奉還の舞台(写真⑧)。庭園も広く美しい(写真⑨)。2023年秋は、プロジェクトマッピングを見たかったが、紅葉見事な嵐山観光を優先したため…次回秋訪問時の楽しみとしたい。



二条城HP

ギャップ萌え 4 すもとじょう 洲本城

【住所】兵庫県洲本市小路谷1272-2
【電話】0799-22-3321(洲本市商工観光課)

2022年5月登城。淡路島にある可愛い天守(写真⑩)は、昭和天皇御大典記念として1928年築城。秀吉による四国平定の足がかりとして、また大阪湾が一望できる大阪城の防衛ラインとして、いたるところに石垣がめぐらされている(写真⑪)。



洲本城HP



11

長崎だより

長崎の情報を
お届けします

一步の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、平井 杏奈様より『琴湖のほとりにて考える コミュニティの持続性を担保するものとは』と題し寄稿していただきました。

長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



お問い合わせ

株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号
十八親和銀行本店内
TEL095-828-8859



ながさき経済web画面

長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。



琴湖のほとりにて考える

コミュニティの持続性を担保するものとは

ひら い あん な
平井 杏奈

琴湖のほとりにて

私が今住んでいる琴海地区は、琴湖と呼ばれた内海のほとりの地域です。琴湖とは、江戸後期の儒学者、頼山陽が漢詩の中で「琴の音のような波の音、湖のような穏やかな海」と歌ったことが由来のようです。「きんこ」（琴湖）転じて「ことのうみ」（琴の湖）とも呼ばれていました。現在は大村湾と呼ばれています。かつて大村藩に属していた琴海地区ですが、平成の大合併などを経て、現在は長崎市の一部となっています。そこに地域おこし協力隊としてやってきたのは2012年。今から13年前のことです。

東が西武で西が東武な池袋の迷路で迷いながら学生をしていた私ですが、縁があつて熊本水俣や沖縄西表島等にフィールドワーク（現地調査）にでかけ、それぞれの土地で地域づくりをする大人の姿にあこがれ、最初の就職は全国の農山漁村をめぐることができる出版社に就職しま

した。しかし北海道支部に配属になったところ、あまりの寒さと日照時間の短さ、雪かきの大変さにぐったりし、ロシア方面から流れてくる分厚い流水を見ながら転職を決意しました。そうして、地域づくりを仕事としてできる「地域おこし協力隊」という制度を活用して、雪が降らないであろう、暖かい長崎にやってきました。

協力隊の活動としては、カメラを携えてあちこち顔を出し、インタビューして記事を書き、平成の市町



穏やかな琴湖



琴海に来てからシーカヤックに乗るようになりました



Profile

平井 杏奈

2011年 立教大学 社会学部 卒業
2011年-2012年 農山漁村文化協会 北海道支部
2012年-2015年 長崎市地域おこし協力隊 琴海地区担当
2013年- 「琴湖ひとまちづくりラボ いなカフェ」理事 及び 事務局
2015年- 有限会社トモメディカルサービス 勤務
2016年-2018年 コミュニティカフェカーム・文化舎クリキンディ運営
2018年-2020年 長崎市市民力推進委員会 委員
2019年- 一般社団法人長崎福祉サテライト 代表理事 及び 事務局
2019年-2025年 長崎市総合計画審議委員会 委員
2023年-2025年 長浦みらいまちづくり協議会 会計



2017 年 いなカフェ夏



農的暮らしイベント

移動する自由を 互助するしくみ

村合併時に無くなってしまった地域のウェブサイトをにつくったり、地元学の手法にのっとった公募写真展の主催と巡回展を行なったりしました。また、「琴湖ひとまちづくりラボ いなカフェ」を立ち上げ、利用頻度の低かった地元の施設の活用推進のイベント（季節の「いなカフェ」や、連続講座「いっしょに学ぼう、農的暮らし」など）を開催しました。

現在、私が活動している「一般社団法人長崎福祉サテライト」では、福祉有償運送を手掛けています。この福祉有償運送とは、福祉の観点から運ばれる人、運ぶ人、運ぶ車両をあらかじめ運輸局及び市の運営協議会に登録することで、地域の人により、地域の困っている人を運ぶことができる互助の仕組みです。田舎では車がないと病院にも買い物にも行きづらく、高齢になって移動

手段がなくなると、都会に出ている娘息子の住む地域の高齢者施設へ転出してゆく、という話は珍しくありません。民生委員さんや近所の人が連れて行つてあげることが、長期頻繁にはなかなか続きません。住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、頼む方も頼まれる方も気兼ねなくお願いできる有償ボランティアを可能にしたのが「福祉有償運送」という仕組みです。もともとは、透析患者の家族の方が互助で持ち回っていた送迎を、有償ボランティアで自家用車により行うことが

できる、と国が定めたことが始まりです。ボランティアは、日本ではなぜか「無償」という意味で定着してしまいました。が、もともとは「自発的な」活動という意味です。経費持ち出しの手弁当では、内発的動機を露させた人（ボランティア）の体力や気力などが燃え尽きてしまい、さらに支援団体も倒れてしまうと継続性を失ってしまうことが多いですが、ありがたいことに「長崎福祉サテライト」は細々ながら今も続いており、今年で10年目を迎えました。

単独では公共交通機関の利用することが困難な人へ
琴海地区 **福祉有償運送**

病院に行きたい
買い物に行きたい
金融機関に行きたい
けれど一人で移動できない……
そんな時は！
地域の有志ボランティアドライバーによる
長崎福祉サテライトの福祉有償運送
をご利用ください

利用手続きの流れ

- ご自宅に
お電話にて
お申し込み
をします
- ご利用の3日
前までに乗車
人数を
お知らせ
- ご自宅から品
物持ち込み
をします

ご利用料金（平成28年度）

2 km未満（基本料金）	300円	
以降 1 km毎に	100円	
特設料金（乗車人数別）（以降 3人毎に200円増）		
乗車人数	乗車人数	乗車人数
1人	2人	3人以上
約 300円	約 500円	約 700円

※1 ヘルパーが必要な乗車人数の場合は、乗車人数にヘルパーは含まれません。
※2 ボランティアドライバー一位より、乗車人数が増える場合は、乗車人数の1.5倍の料金をいただきます。

**一般社団法人
長崎福祉サテライト
福祉有償運送**

登録番号 九州長崎福祉第17号
事務所 九州市東区長崎2584番地
〒851-3212 長崎市長崎2584番地

☎ 095-886-3363
携帯 080-6404-3366 担当：北

長崎福祉サテライト「福祉有償運送」の案内



「住民参加のはしご」 参加の濃淡

まちづくりと言えば、かつてツタの絡まるレンガ造りの講堂で、私をフィールドワークにいざなってくれた恩師が教えてくれた「アーンスタイン



図1 アーンスタインの参加のはしご

8	市民による自治	住民の権利としての参加
7	委任されたパワー	
6	パートナーシップ	
5	形だけの応答(懐柔)	形式的参加
4	表面的意見聴取	
3	情報提供	
2	セラピー(緊張緩和)	住民参加とは言えない
1	あやつり(世論操作)	

ンの住民参加のはしご」を忘れるこ

とができません。「住民参加のはしご」とは、米国の社会学者のシェリー・アーンスタインが、行政と住民との協働のまちづくりについて1969年に表現したものです(図1)。協働の様々な形を整理して、はしごの下から「世論操作」「緊張緩和(ガス抜きのための説明会)」「情報提供」「意見聴取・協議」「懐柔」「パートナーシップ」「委任された」「市民による自治」の8段になっています。1～2段階は住民参加とは言わず、3～5段階は形式上の住民参加、6～8段階で初めて住民の力が生かされる住民参加だと述べています。

つまり、協働で実質的に「まちづくりをする」ということは、市民が行政からサービスを受けたり、情報をもらったりする。また、まちづくり懇談会でのヒアリングや、陳情・署名を渡したり、議会傍聴を行ったりすることなどにとどまらない、計画及び意思決定や運営にかかわりを持つ(自

治)ことです。

とは言え、世の中には解決しなければならぬ課題が星の数ほどあります。人間はそれぞれ24時間しか持たないために、生存や生活を維持していくために時間を割り振らなくてはなりません。課題につかまってしまった人が、「参加のはしご」のなかで最上段でかわる課題もあれば、一番下の段に足をかける課題もあるなど、それぞれができることをできる分だけ、濃淡のある参加方法でもがきながら、時に横を見て手をつないでいくことができればと思っています。

まちづくりへの かわり方の一例

25年6月まで私が委員として参加していた長崎市の「総合計画審議会」は、まちづくりの骨子「総合計画」について、市役所内で立てたものを、委員会に集った様々な市井の人々が、あらゆる視点から審議し、

意見交換し、ブラッシュアップしていく会議です。市の広報誌「広報ながさき」の後ろのページには、その他の委員の募集も載っています。この春は、「長崎原爆資料館運営審議会」や「長崎市まちなか賑わいづくり活動支援補助金交付審査会」等の募集があっていました。市民か、市内に通勤・通学している方で、他の審議会委員会の委員ではなく、公務員や議員でなければどなたでも応募できるそうです。私が「審議委員会」というしくみを知ったのは、いなカフェのメンバーに「応募してみね」と言われ「長崎市民民力推進委員会」に応募したのがきっかけでした。参加してみたところ、市役所でのように施策が編まれているのを見ることができて勉強になりましたし、パブリックコメント(国の行政機関が、政令や省令等を定めようとする際に、事前に広く一般から意見を募集し、参考にする。略して「パブコメ」と言われる)たりする社会参加の方法の一つ)よりも直接顔が見える状態で意見交



換ができるので、おもしろくもありました。



第5次総合計画審議会の様子(写真提供:長崎市)

変化の激しい時代の 生存戦略

現在、私が働いている福祉の現場で、対人援助の倫理として大切にされていることに「相手の自己決定権を尊重できているか」「パターンナリズム(家父長主義:より力があり、より

賢い私があなたのためによい方法を決めてあげる)に陥っていないか」があります。そのために重要な姿勢が、「傾聴と受容ができていますか」です。この「傾聴と受容」の実践について、私がここ10年弱地域とかかわった中で出てきた実感は、「私たちのいないところで私たちのことを決めないでください」ということです。

これは「コミュニティへの参加の度合いが上がるほど、おもしろさと自己効力感が高まり、コミュニティへの帰属感も高まるのではないか」ということです。参画しないことにより、自己効力感とコミュニティへの帰属意識が下がっていく、ボイコットにつながっているという事例を多く見してきました。コミュニティの持続性とレジリエンス(困難を乗り越え回復する力)を担保するためにも、女性も若者も、動員の駒ではなく、ともに未来を生きていく当事者同士として、意思決定の場に招き入れてほしいです。現代のような変化の激しい時代には、D E I (Diversity・ダイバーシティ)

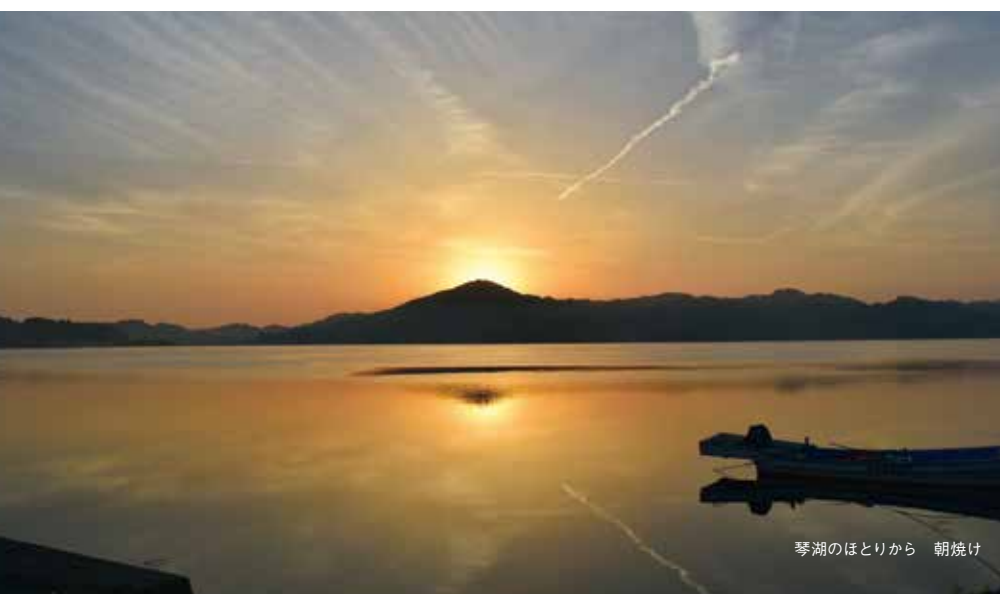
イクイティ インクルージョン
Equity・Inclusion多様性・公平性・包括性)はきれいなことであると同時に、欠かすことのできない生存戦略です。

おまけ

何かの意思決定の場に、包摂したい多様な人々が声を出せる存在として存在していますか? 声をあげやすい場の設計ですか? もしあなたがキャスティング権を持っているならば、構造や権力勾配に注意を払ってほしい。ないなら声をあげてほしい。声をあげにくいなら、横の人と問題についてお喋りするのもしよい。普段喋らない人が声をあげた時に大きくうなずくだけでもいいと思います。少し用法は違うかもしれませんが『アクティブ・バイスタンダー(行動する傍観者)』という考え方が、私はとても好きです。当事者や、最初に声をあげる人になることができなくても、できることがあり、後に続く『善良な普通の人』が増えてゆくことで

世の風が変わっていくことが期待できます。

長崎が、多くの人から愛され、関わり続けたいと思う場所であること、コミュニティとして更新し続けることが可能なことを、琴湖のほとりから願っています。



琴湖のほとりから 朝焼け

追悼 井上萬二展

秀麗なる磁器の世界

開催中

2026年

2月28日(土)まで

十八親和アートギャラリーでは、現在、本年7月に逝去された井上萬二氏の追悼展を陶磁器展示室2において開催しております。

重要無形文化財「白磁」保持者である井上萬二氏は、比類なき技術と飽くなき探求心によって、長年にわたり現代工芸の世界において活躍しました。

本展で紹介する12点の作品は、いずれも、昭和期に旧親和銀行が収集したものです。凛とした白磁の造形美が伝わる《白磁彫文一輪生》《白磁線入筒型花器》のほか、淡く豊かな色合いを持つ青白磁の魅力が引き立つ《青白磁彫文面取花器》《青白磁線花器》、染付による優美な加飾と器形の美しさが一体となった《染付蝶文蓋物》《染付栗鼠文額皿》など、秀麗なる作品を展覧し、その功績を偲びます。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります



青白磁彫文面取花器▶



▲染付蝶文蓋物

井上 萬二(いのうえ・まんじ)1929~2025。佐賀県有田町の窯元に生まれたが、軍人を志して15歳で海軍予科練に進む。復員後、父親の勧めで柿右衛門窯に入門。十二代酒井田柿右衛門に磁器製法を、初代奥川忠右衛門にろくろ技術を学ぶ。1971年に井上萬二窯を開き、日本伝統工芸展などで発表を重ねたほか、文化交流としてドイツ、ハンガリー、モナコ、ポーランド、アメリカなどで個展を開催するなど国内外で活躍。1995年重要無形文化財「白磁」保持者(人間国宝)に認定。1997年紫綬褒章受章。2003年旭日中綬章受章。

十八親和アートギャラリー

鑑賞無料

[開館時間] 10:00~16:00(入館は15:30まで)

[休館日] 日・月・祝日、年末年始(12/30~1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分